

付則 7 施工計画書作成要領

施工計画書作成要領

I 一般事項

1 適用

この施工計画の作成要領は、工事標準仕様の付属書として定めるものである。

2 施工計画書作成の原則

受注者は、工事の施工にあたって、この要領に基づいて施工計画書を作成し、監督職員に提出しなければならない。

3 施工計画書の目的

施工計画書は、設計図書に基づいて、工事目的物を示された工事期間内に正確、かつ、安全に施工するために、どのような方法と条件に従って進めるかを立案するものである。

II 施工計画書

施工計画書の記載事項

1 工事概要

- (1) 契約番号
- (2) 工事名称
- (3) 工事場所
- (4) 工事期間
- (5) 請負金額
- (6) 路線名：国道、県道、市町村道の名称
- (7) 工種及び数量

2 実施工程表

- (1) 工程表は、施工計画に基づき工期内に工事及び完成図書が完了するように作成すること。
- (2) 実施工程表
横線式工程表
曲線式工程表
ネットワーク式工程表（重要なもの）
- (3) 現場閉所計画書

3 現場組織表

- (1) 現場における職務の責任と権限を明確にするため、業務分担、責任者等の組織を記載すること。
- (2) 現場代理人、主任技術者の夜間、休日の連絡先を記載すること。
- (3) 安全衛生規則により、作業主任者、作業指揮者等を選任することが義務づけられている場合は組織表に記載すること。
- (4) 配管技能者
- (5) 下請負人

- 4 主要機械
工事に使用する主要機械について機種、性能、台数、使用工種及び期間等を記載すること。
- 5 主要材料
工事に使用する主要資材の品名、規格、数量、搬入予定時期及び必要に応じて製造又は納入業者名等を記載する。
- 6 施工方法
- (1) 事前調査
- ア. 測量調査
工事に先立ち延長及び測点間の距離及び仕切弁、消火栓等の位置を測定し、施工管理の必要な位置及びNo.ポイント等を決定し、記載する。
- イ. 試験掘り
地下埋設物、地上施設物、その他工作物の移設、防護、切廻し方法の検討及び関係機関との打合せ、立会い等の予定を記載する。
- ウ. 家屋調査
家屋等に近接して施工することによる影響調査等、後日問題となるおそれのある事項について調査し、記載する。
- (2) 土工事
- ア. 舗装切断
舗装切断、とりこわし方法、切断機の種類
- イ. 舗装版とりこわし
使用機械、騒音・振動対策、作業手順
- ウ. 床掘り
- ① 掘削準備：保安施設、土留、排水、残土処分方法等必要な準備等
 - ② 掘削方法：人力、機械掘削の範囲、過掘りに対する措置、床均し等
 - ③ 使用機械の名称、規格等
 - ④ 継手掘り等の掘削：掘削方法、断面寸法
- エ. 埋戻し
- ① 使用材料：フルイ分け試験、見本の提出等
 - ② 埋戻し要領図：層厚、転圧厚、転圧方法
 - ③ 埋戻し方法：埋設物周辺の埋戻し方法、片埋防止、埋戻し厚さ、締固め機械等
 - ④ 土留材の撤去時期
 - ⑤ 締固め機械
- オ. 下層路盤工
- ① 道路種別及び舗装種別ごとの復旧方法
 - ② 埋戻し要領図：層厚、転圧厚、転圧方法
 - ③ 締固め機械：密度等

- カ. 上層路盤工
 - ① 道路種別及び舗装種別ごとの復旧方法
 - ② 埋戻し要領図：層厚、転圧厚、転圧方法
 - ③ 締固め機械：密度等
- キ. 仮復旧工
 - ① 道格種別及び舗装種別ごとの復旧方法
 - ② 交通開放の時期：埋戻し完了後ただちに
 - ③ 保守、点検体制：責任者、点検頻度
- ク. 路面整正工
 - ① 整正方法：使用機械、人力
 - ② 締固め機械：密度等
- ケ. 舗装工
 - ① 使用材料
 - ② 運搬：現場搬入時の温度管理方法、保温方法、積み下ろし時の注意等
 - ③ 舗設：上層路盤面の清掃、乾燥及び損傷ヶ所の補修、縁石、マンホール等の側面及び既設接合部の接着処理、プライムコート、タックコートの散布方法及び散布後の舗装時期敷均し、転圧時の温度管理、敷ならし厚さの管理及び使用転圧ローラ（重量、幅）、ローラのかけられない場所の措置、人力舗設、機械舗設の別
- コ. 発生土運搬
 - ① 自由処分の残土：処分先住所、所有者氏名、残土捨場案内図、捨場ならしの方法
 - ② 改良土の利用計画：処分先住所、処理業者名、処分先案内図、利用計画書
 - ② 産業廃棄物の処分計画：処分先、処理業者名、処分先案内図
 - ③ 運搬業者名
 - ④ 運搬時の残土飛散対策
 - ⑤ 道路清掃方法：清掃員の配置等、周辺対策及び交通障害対策
- サ. 管布設工
 - ① 配管方法
 - イ 管の吊り上げ、吊下し方法（使用機械、切梁の盛り替え等）
 - ロ ポリエチレンスリーブ被覆方法及び標識シート、明示テープの施工方法
 - ハ 継手接合部の確認方法（トルクレンチの校正証明書、胴付間隔の確認、規定トルクの確認等継手のチェックシートによる確認）
 - ニ 使用材料の保管、整理体制（管理責任者、取扱責任者）
 - ② 配水管切替工及び断水連絡
 - イ 断水工事の方法
 - ロ 工程及び施工手順

ハ 既設管の調査：管径、管種、位置等

二 使用材料

ホ 既設管切断方法：切断機

へ 断水広報の方法

③ 弁類の据付け

イ 弁類の据付け方法：前後の配管関係、鉛直性、使用機械、フランジの接合方法

④ 弁室築造

イ 型 枠：種類、支保工、型枠の清掃

ロ 鉄 筋：鉄筋の加工、組立て、使用材料の確認方法、継手の位置及び長さ

ハ コンクリート：使用コンクリートの工場名、配合等、コンクリートの打設方法

二 養生：脱型時期、乾燥、衝撃防止、保護方法等

ホ 鉄蓋の据付け：鉄蓋の取付け方法

へ 各弁室の施工図

ト 使用材料

シ 仮設工

① 水替工：ポンプ容量、台数、排水の処理方法、排水先等

② 土留・仮締切工：現場付近の施工環境（近隣家屋、埋設物）を考慮した施工方法の検討

イ 打設機械（機種、仕様）

ロ 使用材料（種類、形状、寸法）

ハ 施工方法（打設位置の測量、打設精度の管理方法、打設後の措置、腹起し切梁の位置）

ニ 引抜き跡の措置

ホ 保守、点検

③ 覆工板：通行車両を考慮した強度のもの、表面のすべり止めの処理、覆工板の種類及び形状、寸法等

④ 仮道路：設置位置、形状、寸法等

⑤ 仮橋：設置位置、形状、寸法、構造等

⑥ 仮水路：設置位置、材質、形状、寸法等

⑦ 仮設電力設備：設置位置・方法等

⑧ その他：設計図書で特に指定されている、仮設物は必ず記載すること。

⑨ 重要仮設物については、施工図、応力計算書等を添付すること。

ス 水道施工情報システム

① 接合作業の管理

② 作業状況の撮影

7 施工管理

- (1) 工 程 管 理：何によって工程を管理するか、進捗の状況は何日ごとに行うか記載する。
- (2) 出来形管理：出来形管理を行う工種、測定項目、測定基準等を施工管理基準等により抜粋し、記載する。又管理する場所を図面及び表にして記載する。
- (3) 品 質 管 理：品質管理を行う工種、測定項目、試験方法等を施工管理基準等により抜粋し、記載する。又管理する場所を図面及び表にして記載する。
- (4) 写 真 管 理：工事写真は、工程、工事状況、使用材料、品質、出来形等を明らかにできるものとし、撮影箇所、回数は、工事記録写真撮影基準を参考にして行う。又、撮影する場所を図面及び表にして記載する。

8 緊急時の連絡体制

- (1) 緊急時の連絡系統図
 - ア. 緊急時の連絡先電話番号
 - イ. 緊急時の夜間電話番号
 - ウ. 緊急時の指定病院
 - エ. 緊急時の出動体制
 - オ. 関係機関への連絡（警察署、消防署、関係企業者）

9 交通管理

- (1) 保安施設：保安施設の設置方法、保安要員の配置箇所等
- (2) 交通誘導員の配置箇所：作業区間の前後、作業者の出入口
- (3) 仮道路標示：区画線、横断歩道等
- (4) 歩車道、道路幅員、交差点の保安施設設置要領及び保安設備図設置要領
 - ア. 歩車道、幅員、一般部交差点別の設置要領及び道路使用状況図（施工区割図、作業内容、昼夜別等）
 - イ. 道路構造寸法：歩道幅員、車道幅員、車線数、上り車線、下り車線の表示、残車道幅員）
 - ウ. 歩行者通路の位置及び幅員
 - エ. 作業帯の表示、掘削巾、官民境界
 - オ. 工事前資機材配置
 - カ. 保安施設
工事標示板、規制標識、警戒標識、工事案内板、バリケード、電光盤、黄色注意灯、歩行者通路、交通保安要員等の配置位置及び間隔
 - キ. 保安施設の規格
 - ク. 作業別の設置要領
舗装版とりこわし、土留工、掘削、管布設、埋戻し、残土処理、舗装工等

1 0 安全管理

(1) 安全管理体制

- ア. 安全衛生規則による、安全衛生責任者の設置
- イ. 災害防止の組織の設置、運営及び協力、社内の安全管理対策会議、パトロール、協力会社との安全管理対策協議会等
- ウ. 作業間の連絡及び調整
作業場所の巡視、各種機械等の取扱時の運転、合図等の統一各種機械及び施設の管理、安全行事の遂行
- エ. 作業者の安全教育
- オ. 安全点検制度の確立
各作業責任者、有資格者による点検、確認、日常の点検
(作業内容と安全注意事項の伝達、各作業工種ごとの危険予知活動)
- カ. 各機械、仮設物の火気等の点検項目
- キ. 危険作業に対する安全管理者の立会い
- ク. 酸素欠乏防止対策

1 1 仮設備計画

- (1) 請負者事務所、試験室、倉庫等の所在地、位置図、所有者、敷地面積
- (2) 電力照明設備：設備要領（電灯、動力）

1 2 環境対策

- (1) 騒音対策
- (2) 振動対策

使用機械（バックホウ、発電気、切断機等）の騒音、振動に対する留意事項夜間作業時における留意事項、学校、病院、店舗、一般住宅等への留意事項

- (3) 地元住民へのPR対策

工事施工の遂行にあたり、地元住民に対する理解を深めるため、着工前に（工事目的、工事内容、工事期間、工事場所、通行止め、迂回路、作業時間帯、連絡先等）を実施すること。

- (4) 粉塵等の対策

工事現場から粉塵等が発生しないような配慮及び、道路の清掃に関すること。

1 3 関係機関提出書類：警察・消防・地下埋設物確認書・土地使用承諾書

1 4 配管詳細図・施工図

1 5 洗管・通水試験計画図

1 6 断水計画図

1 7 住民広報用チラシ

1 8 再生資源利用計画書

19 その他

(1) 関連工事との調整事項等

※ 作成上の注意

作成に当たっては、工事の性質、内容に応じて項目を追加削除したうえで、施工図、計算書等を添付して具体的に記載する。

施工計画書の記載事項

項目	500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上
(1) 工事概要	◎	◎	◎
(2) 実施工程表	○	◎	◎
(3) 現場組織表	○	◎	◎
(4) 主要機械	○	○	◎
(5) 主要材料	○	○	◎
(6) 施工方法	○	◎	◎
(7) 施工管理	○	○	◎
(8) 緊急時の連絡体制	◎	◎	◎
(9) 交通管理	◎	◎	◎
(10) 安全管理	◎	◎	◎
(11) 仮設備計画	○	◎	◎
(12) 環境対策	○	◎	◎
(13) 関係機関提出書類	◎	◎	◎
(14) 配管詳細図・施工図	○	○	◎
(15) 洗管・水圧試験計画図	○	◎	◎
(16) 断水計画図	○	◎	◎
(17) 住民広報用チラシ	○	◎	◎
(18) 再生資源利用計画書	○	◎	◎
(19) その他	○	○	◎

◎必須

○監督職員との協議により、省略することができる。

記載例

施 工 計 画 書

工 事 名 称
工 事 場 所
工 事 期 間

受注者



目 次

- (1) 工 事 概 要 7-11
- (2) 実 施 工 程 表 7-12
- (3) 現 場 組 織 表 7-13
- (4) 主 要 機 械 7-16
- (5) 主 要 材 料 7-17
- (6) 施 工 方 法 7-18
- (7) 施 工 管 理 7-33
- (8) 緊 急 時 の 連 絡 体 制 7-35
- (9) 交 通 管 理 7-36
- (10) 安 全 管 理 7-38
- (11) 仮 設 備 計 画 7-40
- (12) 環 境 対 策 7-42
- (13) 関 係 機 関 提 出 書 類 7-43
- (14) 配 管 詳 細 図 ・ 施 工 図 7-47
- (15) 洗 管 ・ 水 圧 試 験 計 画 図 7-48

- (16) 断水計画図・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-49
- (17) 住民広報用チラシ・・・・・・・・・・・・・・・・7-50
- (18) 再生資源利用計画書・・・・・・・・・・・・・・・・7-51
- (19) そ の 他・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-52

記載例

1 工事概要

(1) 契約番号	年度	八水契第	号
(2) 工事名称			
(3) 工事場所	自		
	至		
(4) 工事期間	自	年	月 日
	至	年	月 日 日間
(5) 請負代金額	円		
(6) 路線名			
(7) 工種及び数量			

工種	種別	細別	単位	数量	摘要
土 工	カッター工	t=5cm	m	33.0	
	〃	t=7cm	〃	210.0	
	舗装版とりこわし	t=3cm	m ²	418.0	
	〃	t=5cm	〃	34.0	
	〃	t=7cm	〃	360.0	
	掘削	0.2 m ³ 級	m ³	930.0	
	埋戻し	路盤用砂	〃	750.0	
	発土運搬	4tダンプ L=2km	m ³	970.0	
路 盤 工	歩道路盤工	切込碎石 φ20mm以下 t=10cm	m ²	536.0	
	下層路盤工	再生碎石 RC-40 t=20cm	〃	26.0	
	〃	再生碎石 RC-40 t=45cm	〃	145.0	
	上層路盤工	切込碎石 φ20mm以下 t=14cm	〃	8.0	
	〃	切込碎石 φ20mm以下 t=15cm	〃	353.0	
	仮復旧工	粗粒度 As ① t=3cm	〃	360.0	
	路盤掘削積込工	t=7cm	〃	360.0	
	不陸整正工		〃	360.0	
舗 装 工	アスファルト舗装工	密粒度 As ⑤ t=3cm	〃	360.0	
	〃	密粒度 As ② t=4cm	〃	360.0	
	〃	細粒度 GAs ⑦ t=3cm	〃	418.0	
	〃	密粒度 As 歩道 t=5cm	〃	34.0	
布 設 工	水道用ダクタイル鋳鉄管	G X - S φ100	m	982.0	
仕切弁設置工	仕切弁設置工	φ100	箇所	4.0	
消火栓設置工	地上式消火栓	単口 L=1.20m	〃	1	
給水管分岐工		φ20mm	〃	10	
〃		φ30mm	〃	2	
仮 設 工	土留工	木矢板 L=2.0m	m	100.0	

工事名称

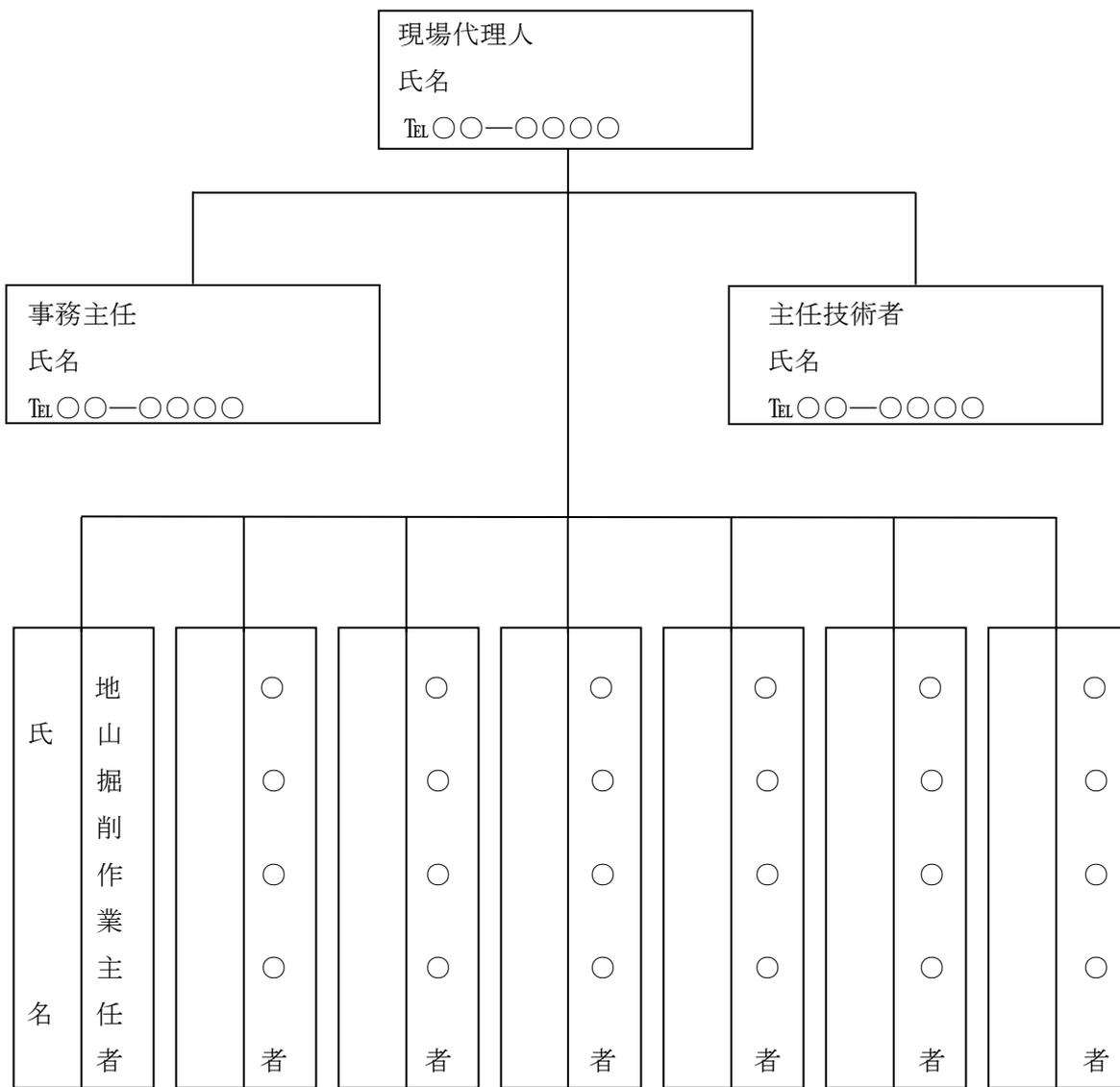
工期	年 月 日～ 年 月 日
受注者	設備工業所
請負代金額	円

工 種	形 状 寸 法	単 位	数 量	5月			6月			7月			8月			9月			10月			摘 要	
				10	20	31	10	20	30	10	20	31	10	20	31	10	20	30	10	20	31		
準備工		式	1	●————●																			
主要資材準備工	DIP φ100~200 仕切弁φ100他	”	1	●————●																			
鑄鉄管布設工	カッター工	t=12cm	m	800.0																		0%	
	舗装版とり こわし工	—”—	m ²	1,300.0																			10%
	掘削工		m ³	700.0																			20%
	埋戻し工	路盤用砂	”	400.0																			30%
	下層路盤工	再生碎石 RC-40	m ²	600.0																			40%
	上層路盤工	切込碎石 φ20mm以下	”	1,400.0																			50%
	発生土運搬	4t車 L=2km	m ³	1,000.0																			60%
	管布設工	DIP GX-S φ200mm	m	700.0																			70%
	—”—	—”— φ100mm	”	1,200.0																			80%
																							90%
																						100%	
仮復旧工	t=3cm 粗粒度 As	m ²	1,300.0																				
舗装工	アスファルト 舗装工	車道 t=5cm 粗粒度 As	m ²	1,300.0																			
	—”—	—”— t=4cm 密粒度 As	m ²	1,300.0																			
	—”—	—”— t=3cm 密粒度 As	m ²	1,300.0																			
	—”—	歩道 t=3cm 細粒度 As	m ²	500.0																			
仕切弁設置工	φ200 φ100	箇所	2 3																				
空気弁設置工	φ25	”	1																				
給水管切替工	φ20~φ30	”	22																				
仮設工	土留工 木矢板 L=2.0m	m	1																				
跡片付け 完成図書作成		式	1																				

記載例

3 現場組織表

現場における組織編成および命令系統業務分担がわかるものでなければならない。監理技術者、専門技術者についても必要がある場合は記載する。



工事別施工者一覧（下請会社等）			
土	工	事	〇〇〇 建設（株） 氏名 TEL
〇	〇	〇	〇 〇 〇 〇 〇 工事 〇〇〇〇〇 建設（株） 氏名 TEL
交通誘導警備			〇〇〇 警備会社 氏名 TEL

参考

建設工事の資格一覧

(1) 免許

1 発破士	7 移動式クレーン運転士
2 ガス溶接作業主任者	8 衛生管理者
3 高圧室内作業主任者	9 エックス線作業主任者
4 潜水士	10 特定化学物質等作業主任者
5 クレーン運転士	11 石綿作業主任者
6 デリック運転士	

(2) 技能講習

1 地山の掘削作業主任者	8 ガス溶接作業員
2 土止め支保工作業主任者	9 コンクリート破砕器作業主任者
3 型枠支保工の組立て等作業主任者	10 採石のための掘削作業主任者
4 足場の組立て等作業主任者	11 有機溶剤作業主任者
5 車両系建設機械（基礎工事用）運転者	12 ずい道等の掘削等作業主任者
6 車両系建設機械（解体用）運転者	13 ずい道等の覆工作業主任者
7 車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転者	14 酸素欠乏危険作業主任者

(3) 特別教育

1 小型車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転者	7 アーク溶接作業員
2 小型車両系建設機械（基礎工事用）運転者	8 研削といしの取替え等作業員
3 小型車両系建設機械（解体用）運転者	9 ショベルローダー等の運転手
4 ローラーの運転手	10 ずい道等建設作業員
5 車両系建設機械（基礎工事用）の作業装置の操作	11 石綿使用建築物等解体等作業員（特別講習受講修了者）
6 電気取扱者	

記載例

4 主要機械

工 種	機 種	摘 要	台 数	使用期間
土工事	バックホー0.2m ³ 級 排出ガス対策型	掘削・積み込み	1	9.1～11.30
	2 t 積 ダンプ	埋戻用砂運搬	2	9.1～11.30
	4 t 積 ダンプ	残土運搬	2	9.1～11.30
	ブルドーザー 15t	残土均し	1	9.1～11.30
	ランマー 60kg	砂締め固め	1	9.1～11.30
路盤工	2 t 積 ダンプ	路盤材運搬	2	9.1～11.30
	ランマー 60kg	路盤締め固め 不陸整正	1	9.1～11.30
	振動ローラ 4t	路盤締め固め 不陸整正	1	9.1～11.30
舗装工	バックホー0.2m ³ 級 排出ガス対策型	路盤掘削	1	12.1～12.20
	2 t 積 ダンプ	路盤掘削	2	12.1～12.20
	2 t 積 ダンプ	合材運搬	2	12.1～12.20
	振動ローラ 4t	合材締め固め	1	12.1～12.20
管布設工	4 t 積 ユニツク	管運搬・吊り込み	1	9.1～11.30
	2 t 積トラック	管接合材運搬	1	9.1～11.30

記載例

5 主要材料

管材料

品名	形状寸法	数量	摘要
水道用ダクタイル鋳鉄管	G X - S ϕ 100 \times 4.0m	18	
〃	〃 ϕ 75 \times 4.0m	40	
フランジ付 T 字管	G X 形 ϕ 75 \times ϕ 75	3	
短管 1 号	〃 ϕ 75	2	
短管 2 号	〃 〃	4	
継ぎ輪	〃 ϕ 100	1	
〃	〃 ϕ 75	1	
水道用ポリエチレン管	ϕ 50 (二層管)	108	
P P チーズ	B 形 ϕ 50	2	
P P ソケット	〃 〃	2	
P P オネジ付ソケット	〃 〃	12	
ソフトシール仕切弁	JWWA B120 2種 ϕ 75	3	
フランジ継手	RF 形 ϕ 50	6	

記載例

施工方法

(1) 事前調査

測 量

試 験 掘

家屋調査

(2) 土工事

舗装切断工

舗装版とりこわし工

床掘り工

埋戻し工

下層路盤工

上層路盤工

仮復旧工

路盤整正工

アスファルト舗装工

発生土運搬

ガラ処分工

(3) 管布設工事

配管方法

配水管切替工及び断水連絡

弁類の据付け

弁室等築造工

(4) 仮設工

水替工

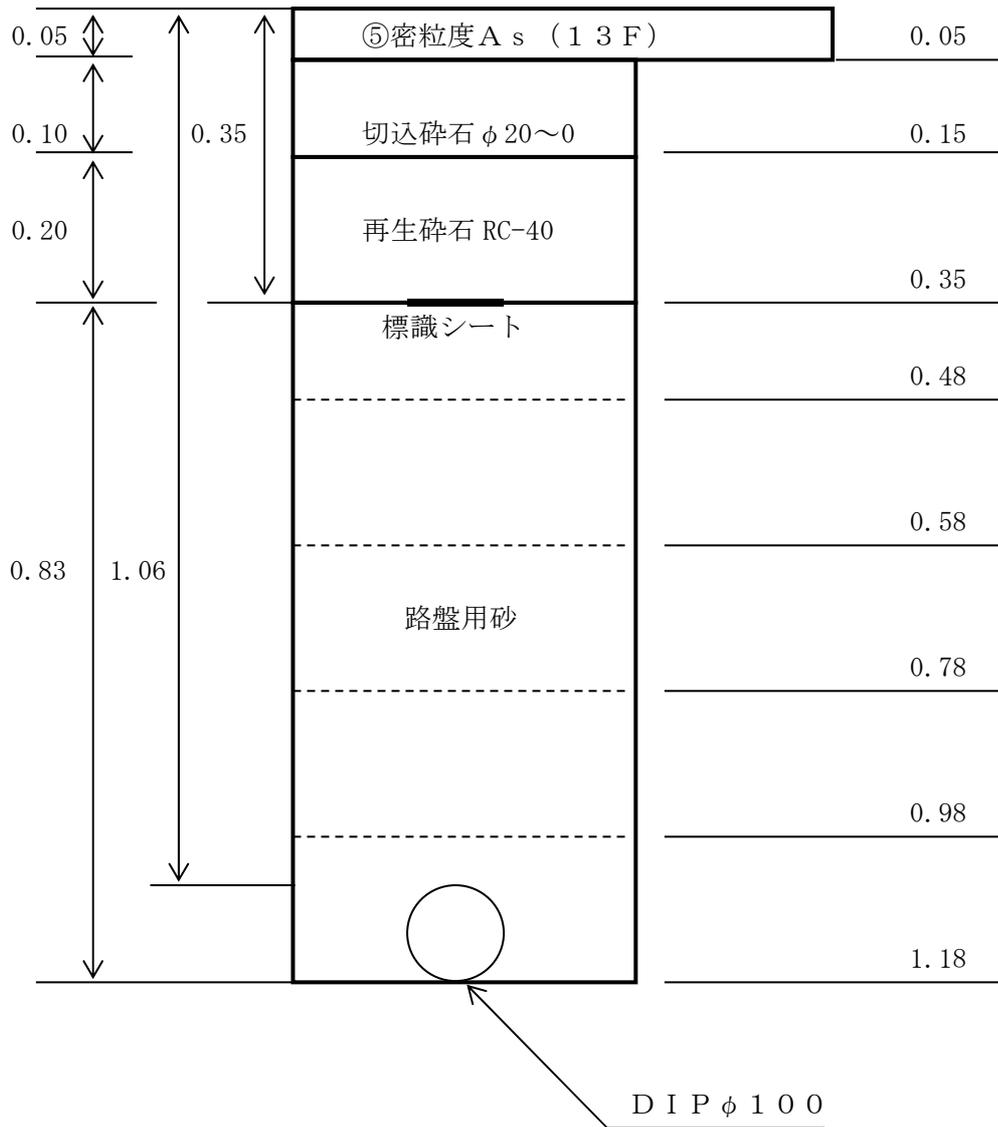
土留工

洗管及び水圧試験

施工計画の記載事項による。

記載例

埋戻し要領図 道路復旧図



管上20cmまでは人力施工とする

記載例

転圧締め固め仕様

工 種	材 料 別	一層当りの 仕上げ限度厚	最大乾燥密度 (g/cm ³)	平均値 X3	仕上げ密度 (g/cm ³)
埋 戻 し 工	路 盤 用 砂 又は発生土	20 cm以下	1.607	90.0%	1.446
下層路盤工	再 生 砕 石 R C - 4 0	20 cm以下	1.890	97.0%	1.833
上層路盤工	切 込 砕 石 φ 20 mm以下	15 cm以下	2.237	96.5%	2.159
歩道路盤工	切 込 砕 石 φ 20 mm以下	15 cm以下	2.237	96.5%	2.159
瀝青安定処理 路盤工	切 込 砕 石 φ 20 mm以下	15 cm以下	2.383	96.5%	2.300
As 舗 装 工	①再生粗粒度 As(20)	5 cm以下	2.416	96.5%	2.331
As 舗 装 工	②再生密粒度 As(13)	4 cm以下	2.393	96.5%	2.309
As 舗 装 工	⑤再生密粒度 As(13F)	3 cm以下	2.380	96.5%	2.297

- ※ (1) タンパーを使用できない個所は、他の方法により所定の強度まで転圧する。
 (2) オーバーコンパクション現象を起こさないよう検討する。
 (3) 埋戻し時の転圧により、埋設物に損傷を与えてはならない。

参考例

[様式-1 (甲)]

○年○月○日 土木工事における材料事前申請書 青森県 総務部 工事検査課長 殿 住 所 青森県八戸市○○○字○○○ ○番地 申請者名 株式会社 ○○○○ 担当者名 代表取締役 ××× ×× 連絡先 TEL 0178-○○-○○○○ 下記事項について審査願います。				○年○月○日 審 査 済 書 株式会社 ○○○○ 殿 青森県 総務部 工事検査課長 ㊟ 下記事項について審査しました。		
番号	名 称	規 格	有効期限	審 査 済 番 号		有 効 期 限
				農林水産部	県土整備部	
1	山砂		X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○		X ○.○.○ ~X ○.○.○
2	砂	路盤用	X.○.○.○		八土-X○- J○○○-○	X ○.○.○ ~X ○.○.○
				審査年月日： ○年○月○日		

参考例

土質試験成績表

受託番号 ○○○○

委託者	* 株式会社 ○○○○		
工事名 又は目的	販売用		
材料名	山砂		
用途	凍上抑制層用		
採取地	八戸市○○○字○○ ○番地		
採取方法	委託者持ち込み試料による。	試験月日	○○年○○月○○日

試料番号		*	備考
採取位置		*	
粒度特性	れき分(2000 μ m以上)	%	2.6
	砂分(75 μ m~2000 μ m)	%	92.5
	シルト分(5 μ m~75 μ m)	%	4.9
	粘土分(5 μ m以下)	%	*
	最大粒径	mm	9.5
	均等係数 U_c		5.23
	曲率係数 U_c'		0.54
コンシステンシー特性	液性限界 ω_L	%	*
	塑性限界 ω_P	%	*
	塑性指数 I_P		*
土粒子の密度	ρ_s	g/cm ³	2.618
自然含水比	ω	%	*
現場における土の単位体積質量試験	試験方法		*
	含水比 ω	%	*
	単位体積質量 ρ_d	t/m ³	*
締固め試験	試験方法		A-a
	最適含水比 ω_{opt}	%	17.2
	最大乾燥密度 ρ_d	t/m ³	1.607
室内CBR試験 (舗装要綱)	試料の状態		乱した
	含水比 ω	%	10.46
	乾燥密度 ρ_d	t/m ³	1.544
	CBR	%	24.8
透水試験	定水位 K_T	cm/sec	*
	変水位 K_T	cm/sec	*
一軸圧縮強度	一軸圧縮強さ q_u	kN/m ²	*
	破壊ひずみ ϵ_f	%	*

試験結果は、上記のとおりでした。

○年○月○日

○○○○ ○○○○技術センター

理事長 ○○ ○○

印

参考例

[様式-1 (甲)]

○年○月○日 土木工事における材料事前申請書				○年○月○日 審査済書		
青森県 総務部 工事検査課長 殿				株式会社 ○○○○ 殿		
住 所 青森県八戸市○○○字○○○ ○番地				青森県 総務部		
申請者名 株式会社 ○○○○				工事検査課長 ㊟		
担当者名 代表取締役 ××× ××						
連絡先 TEL 0178-○○-○○○○						
下記事項について審査願います。				下記事項について審査しました。		
番号	名 称	規 格	有効期限	審査済番号		有効期限
				農林水産部	県土整備部	
1	切込碎石	C-20	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	X.○.○.○ ~X.○.○.○
2	切込碎石	C-40	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	〃
3	切込碎石	C-80	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	〃
4	粒調碎石	M-25	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	〃
5	粒調碎石	M-40	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	〃
6	割栗石 (硬質石灰岩)	5~15 cm	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	〃
7	割栗石 (硬質石灰岩)	15~20 cm	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	〃
8	割栗石 (輝緑岩)	5~15 cm	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	〃
9	割栗石 (輝緑岩)	15~20 cm	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	〃
				審査年月日： ○年○月○日		

骨材試験結果表

工事名称

C - 2 0

R C - 4 0

青森県八戸市大字〇〇〇字〇〇 〇番地

〇〇〇 株式会社

TEL 〇〇〇〇(〇〇)〇〇〇〇

参考例

路盤材試験成績表

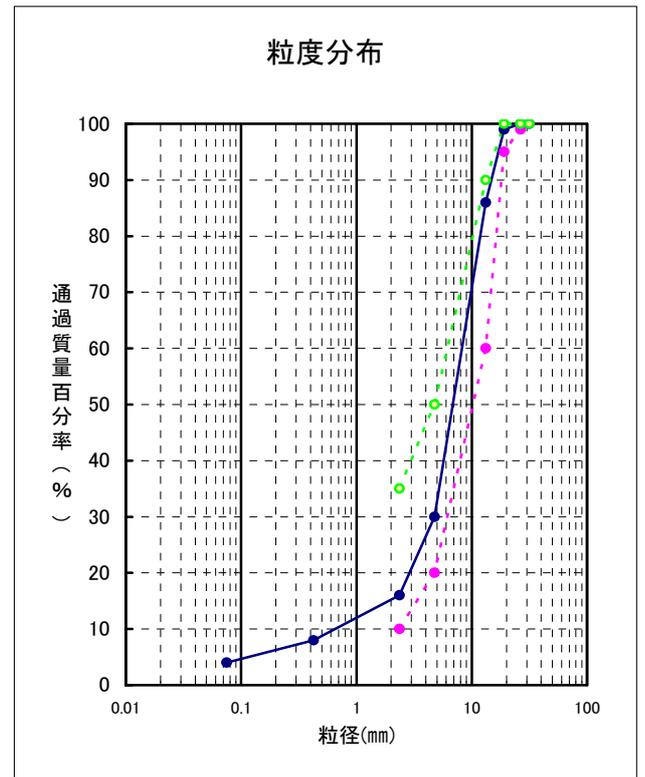
受託番号 ○○○○

委託者	* 株式会社 ○○○○		
工事名 又は目的	* 販売用		
材料名	切込碎石 C-20		
用途	凍上抑制層用		
採取地	八戸市○○○字○○ ○番地		
採取方法	委託者持ち込み試料による。	試験月日	○○年○○月○○日

試験項目	単位	測定値	備考
比重試験	表乾	—	2.851
	絶乾	—	2.834
	見掛け	—	2.883
吸水率試験	%	0.606	
単位体積 質量試験	軽装	kg/m ³	*
	標準	kg/m ³	*

試験項目	単位	測定値	備考
すりへり試験	%	18.3	
安定性試験	%	9.2	
塑性指数	—	N. P.	
修正CBR試験	%	47(2.5mm)	60(5mm)
最大乾燥密度	g/cm ³	2.237	
最適含水比	%	6.0	

粒度試験結果				
ふるい目の開き (mm)	残留質量 (kg)	残留質量 百分率 (%)	累加質量 百分率 (%)	通過質量 百分率 (%)
106	*	*	*	*
75	*	*	*	*
63	*	*	*	*
53	0.000	0	0	100
37.5	0.000	0	0	100
31.5	0.000	0	0	100
26.5	0.000	0	0	100
19	0.217	1	1	99
16	0.666	5	6	94
13.2	1.183	8	14	86
9.5	2.470	17	31	69
4.75	5.799	39	70	30
2.36	2.119	14	84	16
0.425	1.140	8	92	8
0.075	0.549	4	96	4
残	0.657	4	100	0
計	14.800	100	*	*



試験結果は、上記のとおりでした。

○年○月○日

○○○○ ○○○○○技術センター

理事長 ○○ ○○

印

参考例

路盤材試験成績表

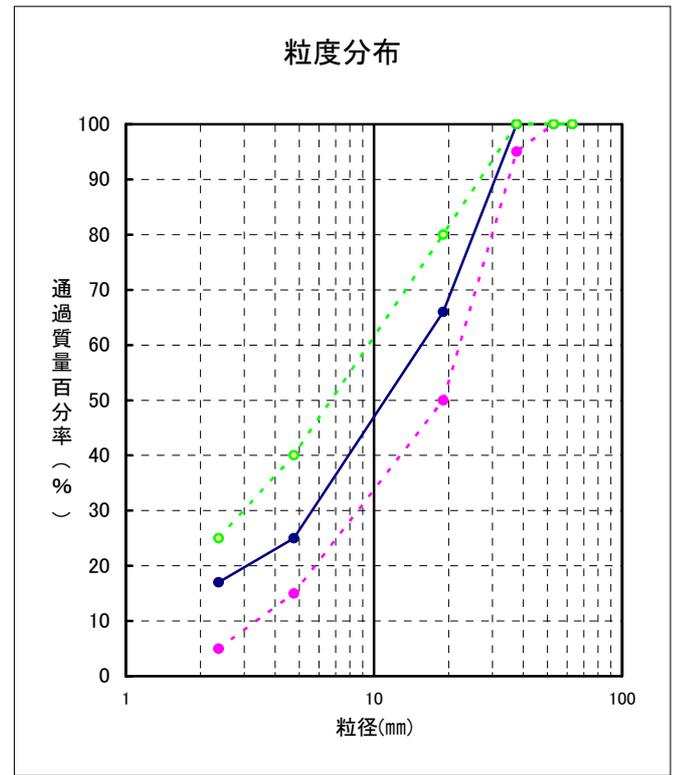
受託番号 ○○○○

委託者	* 株式会社 ○○○○		
工事名 又は目的	* 販売用		
材料名	コンクリート再生路盤材 RC-40		
用途	路盤材		
採取地	八戸市○○○字○○ ○番地		
採取方法	委託者持ち込み試料による。	試験月日	○○年○○月○○日

試験項目	単位	測定値	備考
比重試験	表乾	—	*
	絶乾	—	*
	見掛け	—	*
吸水率試験	%	*	
単位体積 質量試験	軽装	kg/m ³	*
	標準	kg/m ³	*

試験項目	単位	測定値	備考
すりへり試験	%	33.4	
安定性試験	%	*	
塑性指数	—	N.P.	
修正CBR試験	%	123(2.5mm)	148(5mm)
最大乾燥密度	g/cm ³	1.890	
最適含水比	%	6.0	

粒度試験結果				
ふるい目の開き (mm)	残留質量 (kg)	残留質量 百分率 (%)	累加質量 百分率 (%)	通過質量 百分率 (%)
106	*	*	*	*
75	*	*	*	*
63	*	*	*	*
53	0.000	0	0	100
37.5	0.096	0	0	100
31.5	1.234	4	4	96
26.5	2.843	10	14	86
19	5.382	20	34	66
16	1.336	5	39	61
13.2	1.828	6	45	55
9.5	3.361	12	57	43
4.75	5.171	18	75	25
2.36	2.258	8	83	17
0.425	*	*	*	*
0.075	*	*	*	*
残	4.714	17	100	0
計	28.223	100	*	*



試験結果は、上記のとおりでした。

○年○月○日

○○○○ ○○○○○技術センター

理事長 ○○ ○○

印

参考例

[様式-1 (甲)]

○年○月○日 土木工事における材料事前申請書				○年○月○日 審査済書		
青森県 総務部 工事検査課長 殿				株式会社 ○○○○ 殿		
住 所 青森県八戸市○○○字○○○ ○番地				青森県 総務部		
申請者名 株式会社 ○○○○				工事検査課長 ㊟		
担当者名 代表取締役 ××× ××						
連絡先 TEL 0178-○○-○○○○						
下記事項について審査願います。				下記事項について審査しました。		
番号	名 称	規 格	有効期限	審査済番号		有効期限
				農林水産部	県土整備部	
1	アスファルト合材	①粗粒度(20) As=5.0~5.5%	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	X○.○.○ ~ X○.○.○
2	アスファルト合材	②密粒度(13) As=5.5~6.5%	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	X○.○.○ ~ X○.○.○
3	アスファルト合材	②密粒度(20) As=6.5~7.5%	X.○.○.○	/	八土-X○- J○○○-○	X○.○.○ ~ X○.○.○
4	アスファルト合材	⑤密粒度(13F) As=6.5~7.5%	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	X○.○.○ ~ X○.○.○
5	アスファルト合材	⑤密粒度(20F) As=6.5~7.5%	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	X○.○.○ ~ X○.○.○
6	アスファルト合材	⑥細粒度G(13F) As=6.5~7.5%	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	/	X○.○.○ ~ X○.○.○
7	アスファルト合材	⑦細粒度(13F) As=8.0~9.0%	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	X○.○.○ ~ X○.○.○
8	アスファルト合材	⑧密粒度G(13F)ゴ ^ム As=6.0~7.0%	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	X○.○.○ ~ X○.○.○
9	アスファルト合材	瀝青安定処理(20) As=4.0~4.5%	X.○.○.○	/	八土-X○- J○○○-○	X○.○.○ ~ X○.○.○
10	アスファルト合材	再生①粗粒度(20) As=5.0~5.5%	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	X○.○.○ ~ X○.○.○
11	アスファルト合材	再生②密粒度(13) As=5.5~6.5%	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	X○.○.○ ~ X○.○.○
12	アスファルト合材	再生⑤密粒度(13F) As=6.5~7.5%	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	X○.○.○ ~ X○.○.○
13	アスファルト合材	再生⑤密粒度(20F) As=6.5~7.5%	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	X○.○.○ ~ X○.○.○
14	アスファルト合材	再生⑥細粒度G(13F) As=6.5~7.5%	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	/	X○.○.○ ~ X○.○.○
15	アスファルト合材	再生⑦細粒度(13F) As=8.0~9.0%	X.○.○.○	八農-X○- J○○○-○	八土-X○- J○○○-○	X○.○.○ ~ X○.○.○
				審査年月日： ○年○月○日		

アスファルト混合物試験報告書

工事番号 第〇〇〇号

工事名称 〇〇〇〇布設替工事

混合物名 瀝青安定処理 2 0

再生①粗粒度 2 0

再生②密粒度 1 3

再生⑤密粒度 1 3 F

年 月 日

〇〇〇〇 株式会社

現場配合の決定

(1) 混合物の種類 瀝青安定処理 20

(2) 混合条件

混合条件	温度 (°C)			混合時間 (秒)	
	アスファルト	ホットビン	混合物	Dry time	Wet time
目標値又は 設定値	150±10	170±20	160±10	5	40

(3) 配合率

	1ビン	2ビン	3ビン	4ビン	石粉	As	合計
骨材配合率(%)	36.0	12.0	22.0	26.0	4.0	—	100.0
配合率(%)	34.6	11.5	21.1	25.0	3.8	4.0	100.0
質量(kg)	553.0	184.0	338.0	400.0	61.0	64.0	1600.0

(4) 粒度

フルイ目	26.5 (mm)	19	2.36	75 (μ m)
標準粒度範囲 (%)	100 ~100	100 ~95	60 ~20	10 ~ 0
合成粒度(%)	100.0	98.6	39.1	3.9

(5) マーシャル特性

	As 量 (%)	密度 (g/cm ³)	空隙率 (%)	骨材空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (KN)	フロー値 (1/100cm)	S/F (100kn/cm)
基準値	4.0 ± 0.5	—	3~12	—		3.43 以 上	10~40	
測定値	4.0	2.383	6.91	16.10	57.08	4.88	17.30	0.282

(6) 考察

室内配合で求めた設計アスファルト量 4.0%より、±0.3%供試体を3種類製作して観察した結果、異常は見受けられず満足な結果が得られた。また、マーシャル安定度試験やアスファルト抽出試験の値も、室内配合やプラント配合とほぼ同様な結果が得られた。故に、現場配合の最適アスファルト量を 4.0%と決定する。

現場配合の決定

(1) 混合物の種類 再生①粗粒度アスファルト混合物 20

(2) 混合条件

混合条件	温度 (°C)			混合時間 (秒)	
	アスファルト	ホットビン	混合物	Dry time	Wet time
目標値又は 設定値	150±10	170±20	160±10	5	40

(3) 配合率

	1ビン	2ビン	3ビン	4ビン	石粉	サージ	As	合計
骨材配合率(%)	4.2	10.0	33.0	20.5	2.3	30.0	—	100.0
配合率(%)	3.99	9.50	31.35	19.48	2.18	30.33	3.17	100.0
質量(kg)	64.0	152.0	501.0	312.0	35.0	485.0	51.0	1600.0

(4) 粒度

フルイ目	26.5 (mm)	19	13.2	4.75	2.36	600 (μm)	300	150	75
標準粒度範囲 (%)	100 ~100	100 ~95	90 ~70	55 ~35	35 ~20	23 ~11	16 ~5	12 ~4	7 ~2
合成粒度(%)	100.0	98.9	80.3	44.2	28.0	18.6	12.0	6.8	4.5

(5) マーシャル特性

	As 量 (%)	密度 (g/cm ³)	空隙率 (%)	骨材空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (KN)	フロー値 (1/100cm)	S/F (100kn/cm)
基準値	5.0 ± 0.5	—	3~7	—		4.90 以 上	20~40	
測定値	5.0	2.416	4.47	16.14	72.30	7.58	27.3	0.278

(6) 考察

室内配合で求めた設計アスファルト量 5.0%より、±0.3%供試体を 3 種類製作して観察した結果、異常は見受けられず満足な結果が得られた。また、マーシャル安定度試験やアスファルト抽出試験の値も、室内配合やプラント配合とほぼ同様な結果が得られた。故に、現場配合の最適アスファルト量を 5.0%と決定する。

現場配合の決定

(1) 混合物の種類 再生②密粒度アスファルト混合物 13

(2) 混合条件

混合条件	温度 (°C)			混合時間 (秒)	
	アスファルト	ホットビン	混合物	Dry time	Wet time
目標値又は 設定値	150±10	170±20	160±10	5	40

(3) 配合率

	1ビン	2ビン	3ビン	石粉	サージ	As	合計
骨材配合率(%)	18.5	10.0	37.5	4.0	30.0	—	100.0
配合率(%)	17.39	9.40	35.25	3.76	30.01	4.19	100.0
質量(kg)	278.0	150.0	565.0	60.0	480.0	67.0	1600.0

(4) 粒度

フルイ目	19 (mm)	13.2	4.75	2.36	600 (μm)	300	150	75
標準粒度範囲 (%)	100 ~100	100 ~95	70 ~55	50 ~33	30 ~18	21 ~10	16 ~6	8 ~4
合成粒度(%)	100.0	98.3	60.3	42.4	28.9	17.9	9.2	6.0

(5) マーシャル特性

	As 量 (%)	密度 (g/cm ³)	空隙率 (%)	骨材空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (KN)	フロー値 (1/100cm)	S/F (100kn/cm)
基準値	6.0 ± 0.5	—	3~6	—	70~85	4.90 以 上	20~40	
測定値	6.0	2.393	4.01	17.88	77.57	7.77	28.7	0.271

(6) 考察

室内配合で求めた設計アスファルト量 6.0%より、±0.3%供試体を 3種類製作して観察した結果、異常は見受けられず満足な結果が得られた。また、マーシャル安定度試験やアスファルト抽出試験の値も、室内配合やプラント配合とほぼ同様な結果が得られた。故に、現場配合の最適アスファルト量を 6.0%と決定する。

現場配合の決定

(1) 混合物の種類 再生⑤密粒度アスファルト混合物 13F

(2) 混合条件

混合条件	温度 (°C)			混合時間 (秒)	
	アスファルト	ホットビン	混合物	Dry time	Wet time
目標値又は 設定値	150±10	170±20	160±10	5	40

(3) 配合率

	1ビン	2ビン	3ビン	石粉	サージ	As	合計
骨材配合率(%)	24.0	6.0	33.0	7.0	30.0	—	100.0
配合率(%)	22.42	5.60	30.82	6.54	29.82	48.0	100.0
質量(kg)	359.0	90.0	492.0	1053.0	477.0	77.0	1600.0

(4) 粒度

フルイ目	19 (mm)	13.2	4.75	2.36	600 (μm)	300	150	75
標準粒度範囲 (%)	100 ~100	100 ~95	72 ~52	60 ~40	45 ~25	33 ~16	21 ~8	11 ~6
合成粒度(%)	100.0	98.3	64.8	50.3	36.4	23.2	12.4	8.7

(5) マーシャル特性

	As 量 (%)	密度 (g/cm ³)	空隙率 (%)	骨材空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (KN)	フロー値 (1/100cm)	S/F (100kn/cm)
基準値	6.5 ± 0.5	—	3~5	—	75~85	4.90 以 上	20~40	
測定値	6.6	2.380	3.68	18.86	80.49	8.01	28.70	0.279

(6) 考察

室内配合で求めた設計アスファルト量 6.6%より、±0.3%供試体を3種類製作して観察した結果、異常は見受けられず満足な結果が得られた。また、マーシャル安定度試験やアスファルト抽出試験の値も、室内配合やプラント配合とほぼ同様な結果が得られた。故に、現場配合の最適アスファルト量を 6.6%と決定する。

記載例

7 施工管理

(1) 工程管理

実工程表により総合的に管理する。

(2) 出来形管理

管布設工の出来形管理は、測点（50m 間隔）毎に1回の割合及び道路復旧の変化する個所、及び規格値（土被り、布設位置）を超えて施工する箇所（監督職員の指示による）について、管理基準に基づき、設計値と実測値を対比し、出来形結果測定表を作成し提出する。

イ. 出来形測定を実施する測点

No.0	A 復旧〔県車道部〕	No.0～No.0+5.0m	L = 5.0m
No.1	B 〃〔市車道部〕	No.0+5.0m～No.3+15.0m	L = 160.0m
No.2	〃	〃	
No.3	〃	〃	
No.4	C 復旧〔市歩道部〕	No.3+15.0m～No.6	L = 135.0m
No.5	〃	〃	
No.5+20.0	〃〔伏越し部〕	〃	
No.6	C 復旧〔市歩道部〕	〃	
No.7	B 復旧〔市車道部〕	No.6～No.9+10.0m	L = 160.0m
No.8	〃		
No.9	〃		
No.9+10.0	〃		

ロ 規格値

配管土工	掘削幅	$W_1 - 30 \text{ mm}$	$W_2 - 30 \text{ mm}$	$W_3 - 30 \text{ mm}$
	掘削深さ	$H_1 + 100 \text{ mm}$	$- 50 \text{ mm}$	
	〃	H_2	$- 25 \text{ mm}$	
管布設工	布設位置	$W \pm 150 \text{ mm}$		
	土被り	$H + 100 \text{ mm}$	$- 50 \text{ mm}$	
路盤工	幅	$W - 50 \text{ mm}$		
	厚さ	上層路盤	$H - 30 \text{ mm}$	
		下層路盤	$H - 45 \text{ mm}$	
舗装工	基層	幅 $- 25 \text{ mm}$	厚さ $- 12 \text{ mm}$	
	表層	幅 $- 25 \text{ mm}$	厚さ $- 9 \text{ mm}$	

(3) 品質管理

管布設工の品質管理は150mに1回の割合及び道路復旧の変化する個所について管理基準に基づき実施する。

イ. 品質管理を実施する測点〔路盤工密度試験、舗装工（コア）採取〕

No.0 A復旧〔県車道部〕

No.3 B復旧〔市車道部〕

No.6 C復旧〔市車道部〕

No.9 B復旧〔市車道部〕

ロ. 見本検査又は資料を提出する材料〔試験成績表提出〕

路盤用砂 ○○○建設〔採取場所〕

切込砕石φ20mm以下 ○○○興業 〃

再生砕石RC-40 〃 〃

アスファルト合材 ○○○建設

ハ. 品質管理の基準

1. 路盤工

上層路盤：基準密度の96.5%以上〔車道〕

2.36mmフルイ ±15%

75μmフルイ ±6%

2. アスファルト舗装工

※アスファルト舗装の品質管理は、○○○○道路（担当者）へ依頼する。

コア一抽出によるもの

1. 密度：基準密度の96.5%以上

2. アスファルト量：基準アスファルト量の±0.9%以内

3. 通過量：2.36mm ±12%以内

75μm ±5%以内

4. 温度測定：敷均し時 110℃以上〔トラック1台ごとに行う〕

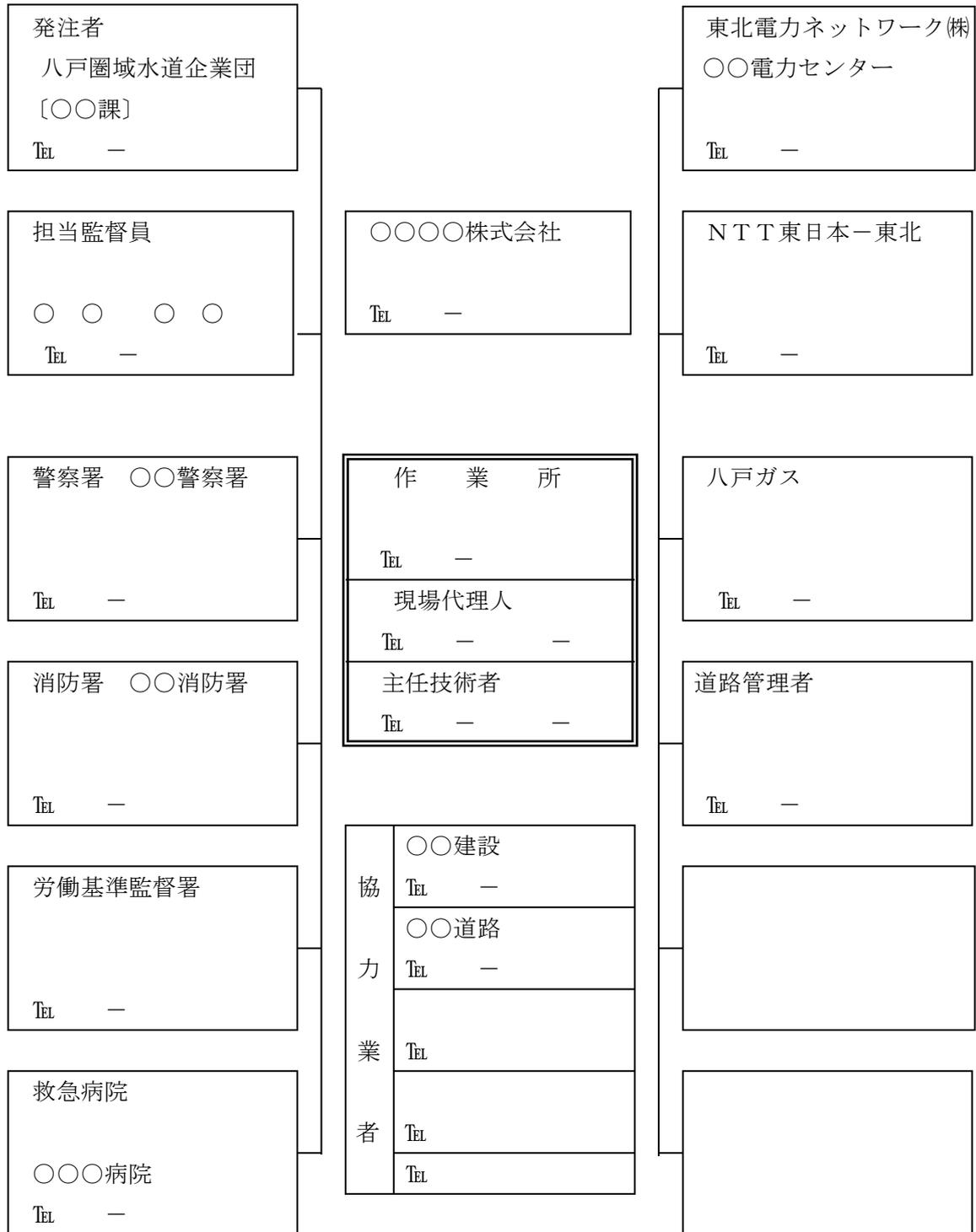
5. 平坦性：3mプロファイルメーター、標準偏差（σ）2.40mm以下

6. その他

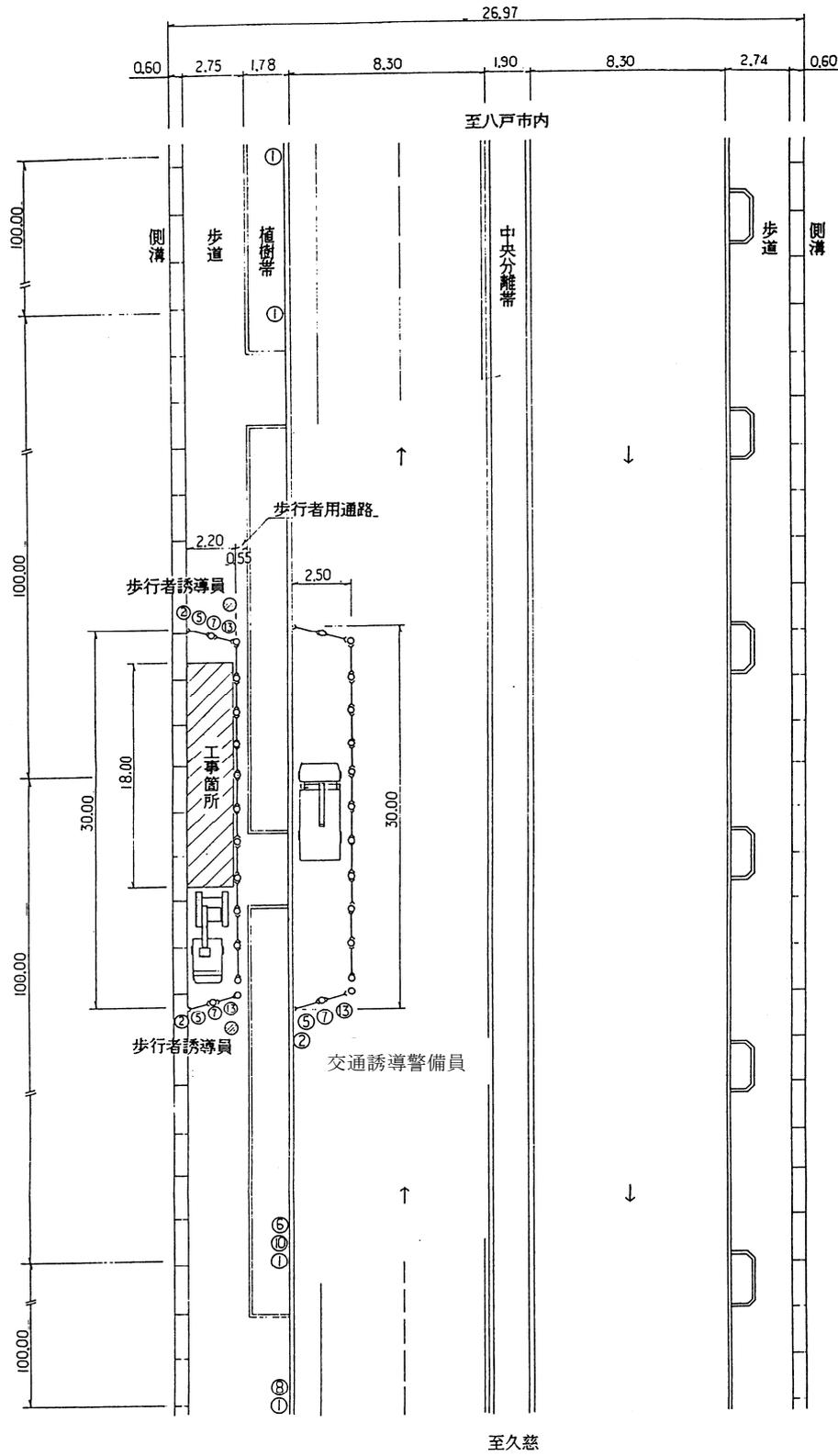
(4) 写真管理

写真管理は、出来形管理測定箇所、品質管理測定箇所等は全て撮影する外、工事記録撮影基準により実施する。

8 緊急時の連絡体制 連絡系統図



9 交通管理 (保安施設図)



10 安全管理

(1) 概要

工事施工場所は、国道 45 号線の歩道を掘削するため施工前に工事の内容・期間等を知らせ一般車両及び付近の会社・店舗及び住民の通行に支障のない様にし、又、歩行者用通路を確保し円滑な交通を保つと共に第三者災害・人身事故等のない様施工致します。

(2) 安全管理重点

- ① 現場内の整理整頓
- ② 機械土木作業中の人身事故防止
- ③ 管布設作業の合図の徹底
- ④ 既設管の破損防止

(3) 安全管理推進要領

① 安全大会

毎月 1 回会社において、(株) 安全管理要領に基づき、安全意識の向上に努めます。

② 毎日の打合せ

毎朝工事施工前に、今日の作業内容及び安全について検討致します。

10 安全管理

1	<p>作業中は、作業区間を片側通行とする。</p> <p>ダクティル鋳鉄管布設作業時は、機械等での接触事故等に注意する。</p> <p>現場の整理整頓に努める。</p>
2	<p>安全協議会組織</p> <p>安全協議会は現場代理人を会長とし元請け、下請けの工事担当で構成する。</p>
3	<p>安全管理対策重点実施目標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 作業場の整理整頓 (2) 機械土工工事中の人身事故 (3) 既設、設置物の保安維持 (4) 管吊り降ろし作業の安全…………… 機械器具の整備点検、合図 (5) 土留め作業の安全…………… 資材、機械器具の整備点検

記載例

11 仮設備計画

所有者住所
氏 名
電 話

上記の所有地を借りて使用材料・重機及び仮設ハウスを設置し管理します。
作業員の為、仮設トイレを設置します。

仮設物の規模

名 称	規 模	場 所
資 材 置 場	30m × 30m	
仮 設 ハ ウ ス	2.4m × 4.5m	
仮 設 ト イ レ	兼 用 一 棟	

次ページに案内図添付

12 環境対策

(1) 騒音対策

工事区間内には、店舗及び会社等有るため、工事着工前に内容・期間・場所等を明記したチラシを配布し充分理解してもらい施工致します。

又、発電機等は全て防音型を使用し施工致します。

(2) 振動対策

振動の原因になるような工具、機械をさげ出来るだけ振動の少ない機種を使用する。

事前に作業現場周辺の住民に対し協力要請をし理解していただく。

(3) その他

記載例

13 関係機関提出書類

別記様式第六（第十条関係）

<h2 style="margin: 0;">道路使用許可申請書</h2>					
			年 月 日		
警 察 署 長 殿					
住所 申請者 氏名 電話番号					
道路使用の目的					
場所又は区間					
期 間	年 月 日 時 分から （毎日 時 分から	年 月 日 時 分まで 時 分まで）			
方法又は形態					
添 付 書 類					
現 場	住 所				
責任者	氏 名	電 話			
第 号 <h2 style="text-align: center; margin: 20px 0;">道路使用許可証</h2> <p style="margin: 10px 0;">上記のとおり許可する。ただし、次の条件に従うこと。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin: 10px 0;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">条 件</td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin: 20px 0;">年 月 日</p> <p style="text-align: right; margin: 0;">警 察 署 長 印</p>				条 件	
条 件					

- 備考 1 申請者が法人であるときは、申請者の欄には、その名称、主たる事業所の所在地及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 方法又は形態の欄には、工事及び作業の方法、使用面積、行事等の参加人員、通行の形態又は方法等使用について必要な事項を記載すること。
- 3 添付書類の欄には、道路使用の場所、方法等を明らかにした図面その他必要な書類を添付した場合に、その書類名を記載すること。
- 4 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

記載例

第 17 号様式 (第 25 条関係)

道 路 工 事 (占 用 ・ 使 用) 届 出 書

(あて先) 八戸地域広域市町村圏事務組合 八戸消防署長		年 月 日
届出者 住 所 氏 名		(電話 番) 印
工事等の予定日時	自 至	
路 線 及 び 箇 所		
工 事 等 の 内 容		
現 場 責 任 者 氏 名		
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄	

- 備考 1 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 2 ※印の欄は、記入しないこと。
 3 工事等に係る区域の略図を添付すること。

記載例

地下埋設物確認書

(道路掘削の場合)

道路使用許可申請時に添付願います

【照会者】

事業者名・代表者

住所

連絡先 (TEL)

(FAX)

現場代理人

(携帯電話)

照会場所

(位置図・平面図・横断図等添付お願いします)

工期

年

月

日

～

年

月

日

工事名

発注者

埋設されている場合は、埋設物管理者の指示に従ってくださいをお願いします。

「地下埋設物確認書」に記載された会社・個人情報は事故防止の目的のみ使用させていただきます。

埋設物	埋設物管理者	確認文書番号	確認結果
上水道	八戸圏域水道企業団 配水管理グループ 確認者	第 号 年 月 日	1,埋設 有り 2,埋設 無し 3,不明(個人引込管がある場合あり)
下水道	八戸市環境部 下水道施設課 管路維持グループ 確認者	第 号 年 月 日	1,埋設 有り 2,埋設 無し
工業用水	青森県八戸工業用水道管理事務所 給水課 確認者	第 号 年 月 日	1,埋設 有り 2,埋設 無し
都市ガス	八戸ガス(株) 供給保安課 確認者	第 号 年 月 日	1,埋設 有り 2,埋設 無し
天然ガス	JXエールエヌサービス(株) 八戸LNGターミナル 供給課 確認者	第 号 年 月 日	1,埋設 有り 2,埋設 無し
電力	東北電力ネットワーク(株) 八戸電力センター 配電技術サービス課 確認者	第 号 年 月 日	1,埋設 有り 2,埋設 無し
	東北電力ネットワーク(株) 八戸電力センター 送電課 ※送電洗埋設住所に限り確認をお願いします。 確認者	第 号 送電線埋設住所一覧以外 年 月 日	1,埋設 有り 2,埋設 無し
電話	(株)NTT東日本-東北 立会センタ (仙台市)WEB又はFAX 0120-899-819 確認者	第 号 年 月 日	1,埋設 有り 2,埋設 無し
情報 ボックス	国土交通省 青森河川国道事務所 八戸国道出張所 注)、国道45号、国道104号線に限り埋設物確認をお願い致します。 確認者	第 号 年 月 日	1,埋設 有り 2,埋設 無し
		第 号 年 月 日	1,埋設 有り 2,埋設 無し

八戸市地下埋設物災害防止対策協議会(20200401)

記載例

土地 使用 承諾 願

年 月 日

様が所有している用地について、
下記の内容で使用したいのでご承諾下さるようお願い申し上げます。

住 所 _____

土地所有者

氏 名 _____ (印)

記

1. 住 所

2. 期 間 年 月 日 から 年 月 日

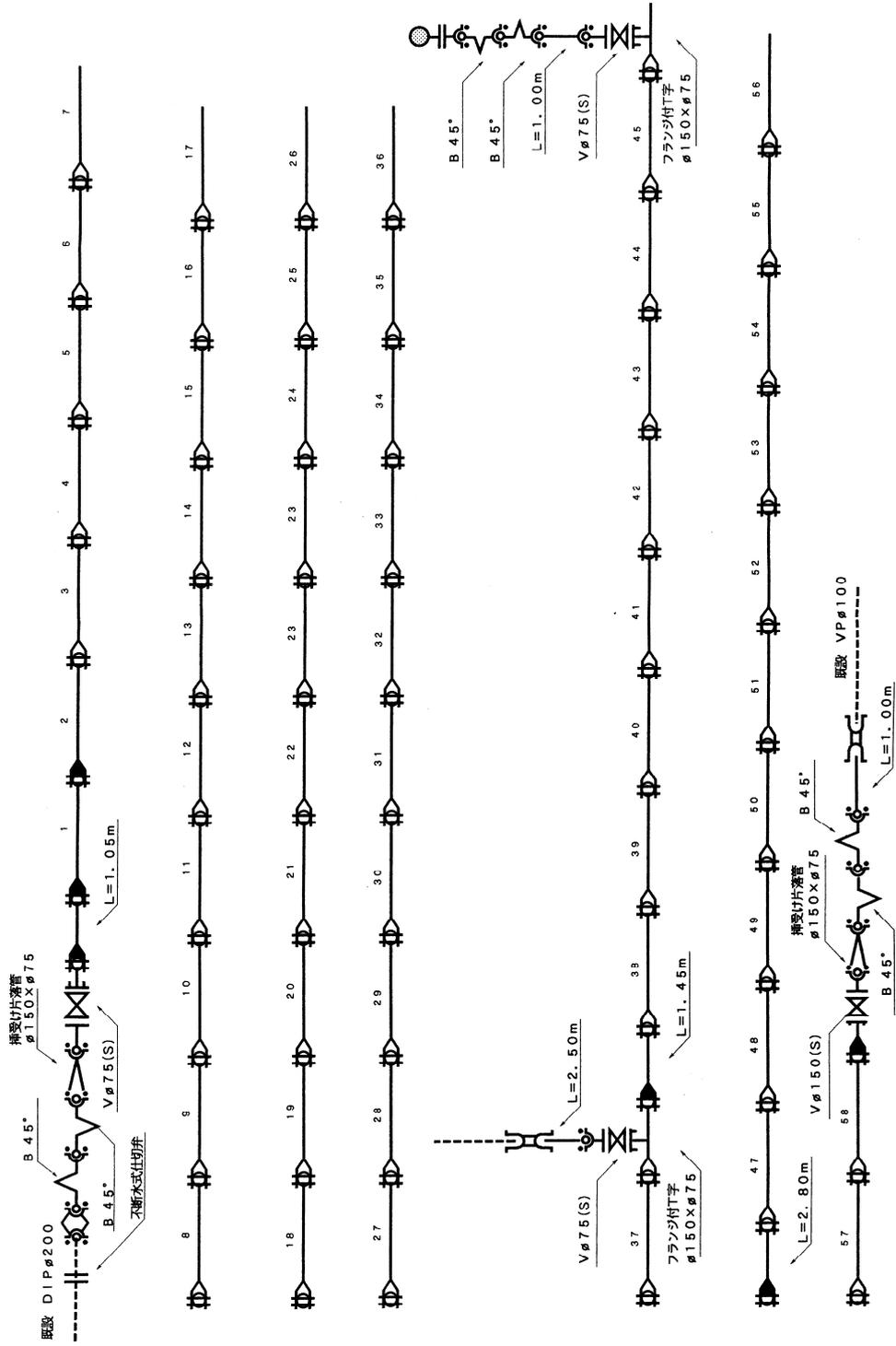
3. 使用目的

住 所 _____

使用者

氏 名 _____ (印)

DIP (GX-S) φ150



15 洗管・水圧試験計画図



1. 仮設 φ50を新設バルブ①に接続する
2. 新設バルブ①より洗管をし、管末にポリピックを吐出する。
3. 洗管終了後、管末に帽をする。
4. 帽に水圧試験用の配管をし、水圧試験を実施する。
5. 水圧試験終了後、機材等を撤去し終了とする。



1. バルブ ①, ②, ③, ⑤を閉、断水
 2. 工事箇所A, Bを接続する。
 3. 接続終了後、⑤のバルブを徐々に開。新管からの給水を借用し洗管する。
 4. 「3」の作業終了後、⑤を閉、④を開にする。②のバルブを徐々に開し、「3」と同様に洗管をする。
 5. 洗管終了後、①, ③, ⑤を開にし、断水を終了。
- ※ 埋戻しは、「3」の作業から同時に施工する。

水道工事のお知らせとお願い

日頃より水道事業運営にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
この度、下記の通り水道工事を施工することとなりましたのでお知らせいたします。
この工事は 老朽化した水道管を取り替える工事 です。
工事の際は交通規制を行います。交通誘導員を配置しますので誘導によりご通行くださるようお願いいたします。また、車両出入口付近を工事する際は、事前に連絡致します。
工事により、振動・騒音等発生しますが、お迷惑をお掛けしないよう細心の注意を払い早期完成に努力いたしますので、近隣住民の皆様には、何卒ご理解とご協力をお願いします。
お気づきの点やご不明点等ございましたら下記施工業者の担当までご連絡下さるようお願いいたします。

工事内容

- 工事名称 八戸市○○○○○配水管布設替工事
- 工事場所 八戸市大字○○字○○ 地内
- 工事期間 ○○年○○月○○日 ～ ○○年○○月○○日
(着工予定 ○○年○○月○○日頃から)
- 交通規制 片側交互通行及び一部通行止め(夜間は規制なし)
(1日の規制区間約○○m)
- 発注者 八戸圏域水道企業団(○○課) TEL 0178-70-○○○○
- 施工業者 株○○水道 現場代理人 ○○ ○○ TEL ○○○○-○○-○○○○

案内図

裏面 広報誌「災害に強い水道を目指して」

様式1-イ 再生資源利用計画書 ー建設資材搬入工事用ー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第11条通知別表」対応版ー

表面

1. 工事概要 (赤着色セルは必須入力箇所です。)

大分類	都道府県	発注機関コード	法人番号	0	https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/
中分類	青森県	020803	株式会社名	0	記入年月日 R3 年 7 月 20 日
小分類	水通企業団 (水通組合)	担当名	建設事務所/備考	02青森県知事	特記
		TEL	建設工事登録番号	毎	81000各県建設業協会加
			会社所在地	青森県八戸市	TEL
					0000-00-0000
					工事責任者
					00 00
					調査漏れ記入者
					00 00

工事名	〇〇配水管布設工事	工事種別	土木工事	積算金額	1,000	1万円未満四捨五入	1万円未満四捨五入
工事施工場所	青森県 八戸市	建設コード	E	工期	令和3年7月1日から	令和3年7月31日まで	再資源化等が完了した年月日
工事概要等	DIPφ100×150m、仕切弁設置工φ100×2箇所		施工条件の内容 (再生資源の利用に関する特記事項等)	建築・解体工事のみ 右欄に記入して下さい			
							再生資源化等が完了した年月日
							令和 年 月 日
							建築・解体工事のみ 右欄に記入して下さい
							令和 年 月 日
							建築・解体工事のみ 右欄に記入して下さい
							令和 年 月 日

2. 建設資材利用計画

分類	建設資材 (新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい)			再生資源利用率 B/A×100
	小分類コード*5	規格	主な利用用途コード*6	再生資材の名称コード*7	再生資材利用量(B)小数量第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	
特定建設資材	コンクリート	トン	0.000	トン	0.000		0%
	コンクリート及び鉄筋から成る建設資材	トン	0.000	トン	0.000		0%
	合計	トン	0.000	トン	0.000		0%
その他の建設資材	土砂	m ³	0.000	m ³	0.000		0%
	砕石	m ³	0.000	m ³	0.000		0%
	その他の建設資材	トン	0.000	トン	0.000		0%

- | | | | |
|--|---|--|---|
| <p>コード5</p> <p>コンクリートについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生コン(再生資材) 2. 再生生コン(〇〇再生資材) 3. 再生生コン(〇〇再生資材M) 4. 再生生コン(〇〇再生資材L) 5. 再生生コン(その他再生資材) 6. 無筋コンクリート二次製品(再生資材) 7. 無筋コンクリート二次製品(再生資材) 8. 再生無筋コンクリート二次製品(再生資材) 9. 再生無筋コンクリート二次製品(再生資材) 10. その他 <p>コンクリート及び鉄筋から成る建設資材について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 有筋コンクリート二次製品(再生資材) 2. 有筋コンクリート二次製品(再生資材) 3. 再生有筋コンクリート二次製品(再生資材) 4. 再生有筋コンクリート二次製品(再生資材) 5. その他 <p>木材について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 木材(ボード類を除く) 2. 木質ボード <p>アスファルト・コンクリートについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 粗粒アスコン 2. 密粒アスコン 3. 細粒アスコン 4. 開粒度アスコン 5. 改良アスコン 6. アスファルトモルタル 7. 加熱アスファルト安定剤路盤材 8. その他 <p>土砂について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第一種建設発生土 2. 第二種建設発生土 3. 第三種建設発生土 4. 第四種建設発生土 5. 浚渫土以外の泥土 6. 浚渫土 7. 土質改良土 8. 建設汚泥処理土 9. 再生コンクリート砂 10. 山砂、山土などの新材(採取土、購入土) <p>砕石について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラッシュラン 2. 粒調整砕石 3. 磁さい 4. 単粒度砕石 5. 小石、割くじ石、自然石 6. その他 <p>塩化ビニル管・継手について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 硬質塩化ビニル管 2. その他 <p>石膏ボードについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 石膏ボード 2. シーリング石膏ボード 3. 強化石膏ボード 4. 化粧石膏ボード 5. 石膏ラスボード 6. その他 <p>その他の建設資材について (利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)</p> | <p>コード6</p> <p>アスファルト・コンクリートについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 濃床 2. 稀床 3. 上層路盤 4. 歩道 5. その他(駐車場舗装、歩道内舗装等) <p>土砂について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運路路盤 2. 路床 3. 河川築堤 4. 構造物等の裏込材、埋戻し 5. 宅地造成 6. 水田増立 7. 汚泥処理(農地整備) 8. その他 <p>砕石について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 舗装の下層路盤材 2. 舗装の上層路盤材 3. 構造物の裏込材、基礎材 4. その他 <p>塩化ビニル管・継手について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水道(配水)用 2. 下水道用 3. ケブル用 4. 農業用 5. 設備用 6. その他 <p>石膏ボードについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 壁 2. 天井 3. その他 <p>その他の建設資材について (利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)</p> | <p>コード7</p> <p>コンクリートについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 再生生コン(〇〇再生資材H) 2. 再生生コン(〇〇再生資材M) 3. 再生生コン(〇〇再生資材L) 4. 再生生コン(再生資材) 5. 再生生コン(再生資材) 6. 再生生コン(再生資材) 7. 再生無筋コンクリート二次製品(再生資材) 8. その他 <p>土砂について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 有筋コンクリート二次製品(再生資材) 2. 再生有筋コンクリート二次製品(再生資材) 3. 再生有筋コンクリート二次製品(再生資材) 4. その他 <p>木材について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 再生木材(ボード類を除く) 2. 再生木材ボード <p>アスファルト・コンクリートについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 再生粗粒アスコン 2. 再生密粒アスコン 3. 再生開粒度アスコン 4. 再生改良アスコン 5. 再生加熱アスファルト安定剤路盤材 6. 再生アスファルトモルタル 7. 再生粗粒アスコン 8. その他 <p>土砂について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第一種建設発生土 2. 第二種建設発生土 3. 第三種建設発生土 4. 第四種建設発生土 5. 浚渫土以外の泥土 6. 浚渫土 7. 土質改良土 8. 建設汚泥処理土 9. 再生コンクリート砂 10. その他 <p>砕石について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 再生クラッシュラン 2. 再生粒調整砕石 3. 磁さい 4. その他 <p>塩化ビニル管・継手について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 再生硬質塩化ビニル管 2. その他 <p>その他の建設資材について (利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)</p> | <p>コード8</p> <p>再生資材の供給元について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現場内利用 2. 他の工事現場(内陸) 3. 他の工事現場(海岸) 4. 再資源化施設 5. 転売・ストックヤード 6. その他 <p>施工条件について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 再生材の利用の指示あり 2. 再生材の利用の指示なし |
|--|---|--|---|

